

3-3 一戸建・長屋建の敷地の面積

所有地の1住宅当たり敷地面積は借地の1.3倍

一戸建・長屋建の持ち家（2660万戸）を敷地面積別にみると、「99㎡以下」が404万戸で、一戸建・長屋建の持ち家全体の15.2%、「100～199㎡」が964万戸（36.3%）、「200～299㎡」が572万戸（21.5%）、「300～499㎡」が426万戸（16.0%）、「500㎡以上」が295万戸（11.1%）となっており、1住宅当たり敷地面積は279㎡となっている。

敷地の所有の関係別にみると、所有地は「99㎡以下」が377万戸で所有地全体の14.7%、300㎡以上が700万戸（27.4%）となっており、借地は「99㎡以下」が26万戸で借地全体の25.9%、300㎡以上が20万戸（19.7%）となっている。1住宅当たり敷地面積は所有地が281㎡、借地が211㎡で、所有地が借地の1.3倍の広さとなっている。

<表3-5>

また、1住宅当たり敷地面積の推移を敷地の所有の関係別にみると、昭和53年以降、所有地が減少傾向にあるのに対して、借地は増加傾向にある。

<図3-3>

表3-5 敷地の所有の関係、敷地面積別一戸建・長屋建の持ち家数—全国（平成25年）

敷地の所有の関係	総数	99㎡以下	100～199㎡	200～299	300㎡以上			1住宅当たり敷地面積(㎡)
					総数	300～499	500㎡以上	
実数(1000戸)								
総数	26,600	4,035	9,645	5,718	7,202	4,257	2,946	279
所有地	25,586	3,772	9,282	5,529	7,003	4,106	2,897	281
借地	1,014	263	363	189	199	150	49	211
割合(%)								
総数	100.0	15.2	36.3	21.5	27.1	16.0	11.1	-
所有地	100.0	14.7	36.3	21.6	27.4	16.0	11.3	-
借地	100.0	25.9	35.8	18.6	19.7	14.8	4.8	-

図3-3 敷地の所有の関係別一戸建・長屋建の持ち家の1住宅当たり敷地面積の推移—全国（昭和53年～平成25年）

